

器

四年

画数 15
筆順
オンキ
フン うつわ



成り立ち

むかし中国では、犬の肉を「狗肉」と言つて、ふつうの人々の食肉でした。器は、その狗肉をもる「うつつわ（入れ物）」を表した字で、その形を表した「口」四つと、「犬」とを組み合わせて作った字です。だから、もとの字は「器」で、今の字は「器」がはぶかれたものです。

犬の肉は下等で、上等な肉は羊の肉でした。それで、「羊の頭をかかえて狗肉を売る」（羊頭狗肉）という諺があります。店先に羊の頭をぶら下げて、いかにも羊の肉を売ると見せて、実は狗肉を売りつける、というように、うまいことを言つて人をだますことを言います。

器は「入れ物」の意味から、「道具」、また「人物（人から）」や「才能」の意味に使われます。例器具、楽器、武器、器械、大器、器量。

機

四年

画数 16
筆順
オンキ
フン はた



成り立ち

「人」と「戈」とで、「てきにそなえて「まもる」の意味を表した「戍」と、「糸の頭（糸ぐち）」を表し、「物事の始まり」。「物事の「ぎざし」という意味の「ギ」とを組み合わせた「幾」は、「わずかなぎざしにも気をつけまもる」ことを表した字です。

「ぎざし」はわずかでも大きな事件になるものですか、「見かけは小さいけれども大きな仕事をする」「しかけ」を、「機」と言いました。例機械、機関。

「大きな事件になる、わずかな「きっかけ」」「ちよūdよい時」という意味にも使われます。例動機（動くきっかけ）、転機、時機、好機、待機。

また、むかしのおもな機械の「織機（はた）」のこと。

四年

使い方

▽音楽の時間には、いろいろな楽器を使います。わたしは打楽器が好きで、ティンパニや木琴をたたきます。▽わたしのおかあさんは、食器を集めるのが趣味です。お皿やお茶碗を見て歩いては、良さそうなのを買って来ます。だから、食器棚はいつもいっぱいです。

熟語例

▽器具（道具のこと。）

▽楽器（音楽を演奏する時につかう器具）

▽武器（戦争の時につかう器具。また、そこから「有効な手段」のたとえにも、つかわれます。「有力者から仕入れた知識を武器にして、世の中を渡って行く」などというふうに、つかいます。）

▽器械（道具。「器械体操」といえば、鉄棒や平行棒などの器械をつかつてする体操のことです。）

▽大器（大きな器、という意味から、大人物、大きな才能、という意味につかわれるようになります。「大器晩成」ということばがあります。大人物が、若い時はあまり目立たず、おそくなって実力を発揮する時に、つかわれます。）

▽器械（道具。「器械体操」といえば、鉄棒や平行棒などの器械をつかつてする体操のことです。）

▽大器（大きな器、という意味から、大人物、大きな才能、という意味につかわれるようになります。「大器晩成」ということばがあります。大人物が、若い時はあまり目立たず、おそくなって実力を発揮する時に、つかわれます。）

▽器械（道具。「器械体操」といえば、鉄棒や平行棒などの器械をつかつてする体操のことです。）

▽大器（大きな器、という意味から、大人物、大きな才能、という意味につかわれるようになります。「大器晩成」ということばがあります。大人物が、若い時はあまり目立たず、おそくなって実力を発揮する時に、つかわれます。）

▽器械（道具。「器械体操」といえば、鉄棒や平行棒などの器械をつかつてする体操のことです。）

▽大器（大きな器、という意味から、大人物、大きな才能、という意味につかわれるようになります。「大器晩成」ということばがあります。大人物が、若い時はあまり目立たず、おそくなって実力を発揮する時に、つかわれます。）

▽器械（道具。「器械体操」といえば、鉄棒や平行棒などの器械をつかつてする体操のことです。）

▽大器（大きな器、という意味から、大人物、大きな才能、という意味につかわれるようになります。「大器晩成」ということばがあります。大人物が、若い時はあまり目立たず、おそくなって実力を発揮する時に、つかわれます。）

▽器械（道具。「器械体操」といえば、鉄棒や平行棒などの器械をつかつてする体操のことです。）

使い方

▽今の機械は金属でできたものが多いですが、むかしは木で作られました。機械が木へんで書かれているのはそのためです。機械が現代に発明され、字も今作られたとすれば、金へんになっていたかもしれませぬ。

熟語例

▽機械（動かして、何らかの仕事をするしかけ）

▽機関（ある働きをするためのしかけ。とくに、エンジンのことをいいます。また、ある目的のために作った組織のことも「機関」といいます。「機関誌」といえば、ある組織が発行している新聞や雑誌のことです。）

▽動機（ある行動をとるきっかけ。そのことをした原因。「いったい、何が動機で、画家をこころざしたのか」などというふうに、つかいます。）

▽転機（前と違った状態に変わるきっかけ。「病気が転機になって、人生に対する態度がまじめになった」などというふうに、つかいます。）

▽好機（ちよūdよい時。「得点する絶好の好機だ」などというふうに、つかいます。）

▽好機（ちよūdよい時。「得点する絶好の好機だ」などというふうに、つかいます。）

▽好機（ちよūdよい時。「得点する絶好の好機だ」などというふうに、つかいます。）

▽好機（ちよūdよい時。「得点する絶好の好機だ」などというふうに、つかいます。）

▽好機（ちよūdよい時。「得点する絶好の好機だ」などというふうに、つかいます。）

▽好機（ちよūdよい時。「得点する絶好の好機だ」などというふうに、つかいます。）

▽好機（ちよūdよい時。「得点する絶好の好機だ」などというふうに、つかいます。）

▽好機（ちよūdよい時。「得点する絶好の好機だ」などというふうに、つかいます。）

▽好機（ちよūdよい時。「得点する絶好の好機だ」などというふうに、つかいます。）

▽好機（ちよūdよい時。「得点する絶好の好機だ」などというふうに、つかいます。）